

経済水道委員会

説明資料

名古屋市産業振興ビジョン2020（案）について

平成27年12月9日

市民経済局

目 次

頁

1	ビジョン策定の概要	1
2	地域経済の現状と課題	1
3	本市が目指す発展の姿	2
4	施策の方向性及び展開	4
5	推進体制	10
6	進捗管理	10
7	今後の予定	10

1 ビジョン策定の概要

区 分	内 容
策定の趣旨	当地域の産業の持続的な発展を図っていくために、本市の産業振興施策及び就労支援施策の基本方針と施策の方向性を示すもの
計画期間	概ね10年先の本市の将来を見据え、平成28年度から平成32年度までの5年間とする

2 地域経済の現状と課題

(1) 名古屋圏の魅力的な産業資源

区 分	内 容
人材・地域資源	人、大学・短大や学生、法務・税務関連専門家、金融機関などの多くの資源が集積
研究開発	産学連携の共同研究など、大学、研究機関、企業における多くの研究開発が進行
交流	名古屋港における貿易、企業の海外進出、国際会議の開催などの活発な産業交流が展開
主な本市の産業労働支援拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・なごやサイエンスパーク ・国際展示場 ・工業研究所 ・中小企業振興会館 ・なごやジョブサポートセンター
名古屋圏を取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線の開業（平成39年度予定） ・名古屋駅周辺の大規模再開発 ・ロボカップ2017世界大会の開催

(2) 本市経済の課題

区 分	内 容
本市を取り巻く外部要因	<ul style="list-style-type: none">・世界規模でのニーズの変化・消費者の価値観の変化・国際的な都市間競争の激化
市内中小企業が抱える課題	<ul style="list-style-type: none">・人手不足、需要の減少・停滞、競争の激化、生産設備の老朽化などの経営上の課題・人材育成や新製品開発等への取り組みの不足
産業人材の育成にかかる課題	<ul style="list-style-type: none">・人手不足の顕在化、若年労働者の減少・女性の活躍推進・ワーク・ライフ・バランスの実現

3 本市が目指す発展の姿

(1) ビジョン

「ビジネス・エコシステム」により新たな価値が生まれ続けるまち名古屋

注 本ビジョンにおける「ビジネス・エコシステム」とは、多種多様な主体が互いの得意とする経営資源を結びつけ、新たな価値を創造し続ける仕組みをいう

(2) ビジョンの実現に向けたプロジェクト

1	「だれもが新たな価値を生み出せるまち名古屋」の実現 ～新たな価値を創造する重点産業の振興・産業交流の促進～
2	「だれもがビジネスに挑戦できるまち名古屋」の実現 ～地域に魅力と活力を生み出す中小企業の支援～
3	「だれもがいきいきと働き輝けるまち名古屋」の実現 ～地域の持続的な発展につながる就労支援・産業人材の育成～

(3) 重点産業分野

分 野		主な具体例	
成長産業	航空宇宙産業	航空機、ロケット	
	医療・福祉・健康産業	医療機器、 介護ロボット・福祉用具	
	環境・エネルギー産業	次世代自動車、燃料電池、 資源リサイクル	
価値づくり産業	主として ものづくり	ロボット・ICT産業	次世代ロボット、人工知能、 IoT
		先端技術産業	プラズマ等ナノテクノロジー、 バイオ、高機能素材
		基盤技術産業	めっき、溶接、プラスチック成形
	主として ことづくり	クリエイティブ産業	デザイン、ファッション、 コンテンツ
		MICE関連産業	展示会、コンベンション、観光
		サポート産業	知的ビジネス支援サービス

4 施策の方向性及び展開

(1) プロジェクト1

「だれもが新たな価値を生み出せるまち名古屋」の実現
 ～新たな価値を創造する重点産業の振興・産業交流の促進～

ア 成果指標

指 標	現状値	目標値
製造業の付加価値額	11,518億円 (平成25年)	12,800億円 (平成32年)
産業見本市、展示会来場者数	242万人 (平成26年度)	287万人 (平成32年度)

イ 施策展開

区 分	施策展開
成長産業の振興	<p>○航空宇宙産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規参入・販路拡大の支援 ・設備投資の促進 ・将来の航空宇宙産業を担う人材の創出・育成 ・国際戦略総合特区の推進 <p>○医療・福祉・健康産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療介護機器・ロボットの開発普及促進 ・なごやサイエンスパークBゾーンの整備 ・販路開拓の支援 ・医療介護機器等の開発を担う人材の育成 <p>○環境・エネルギー産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学行政等の連携による研究開発の促進 ・次世代自動車に関する普及啓発等 ・新技術の開発を担う人材の育成

区 分	施策展開
価値づくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> ○次世代ロボット産業の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ロボカップ2017世界大会の開催 ・技術開発・人材育成の促進 ○産学行政等の連携によるイノベーションの創出 <ul style="list-style-type: none"> ・なごやサイエンスパーク事業の推進 ・地域の大学、研究機関等との連携強化 ・知的財産活用促進 ○クリエイティブ分野の積極的活用 <ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティブ産業の振興 ・デザインによる新たな価値の創出
交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○産業交流拠点の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業振興会館・国際展示場等の運営・整備 ・産業見本市等の誘致・開催 ○産業立地の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致の推進 ・市内再投資の推進 ・本社機能の進出支援

(2) プロジェクト2

「だれもがビジネスに挑戦できるまち名古屋」の実現
～地域に魅力と活力を生み出す中小企業の支援～

ア 成果指標

指 標	現状値	目標値
新事業進出等に取り組む企業の割合	28.4% (平成26年度)	37.0% (平成32年度)

イ 施策展開

区 分	施策展開
地域産業の担い手支援	<ul style="list-style-type: none">○金融機関との連携強化<ul style="list-style-type: none">・地域の金融機関との連携体制の強化 ○経営基盤の安定化支援<ul style="list-style-type: none">・経営相談等による支援・資金調達の円滑化支援・技術のワンストップ相談機能の推進 ○小規模事業者の経営力強化<ul style="list-style-type: none">・課題解決のための伴走型支援・設備投資の促進 ○地域商業の活性化支援<ul style="list-style-type: none">・多様な主体との連携の支援・事業承継の支援

区 分	施策展開
<p>挑戦する意欲の増進</p>	<p>○競争力強化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信、マッチングのための場の提供 ・ 国内外への販路開拓支援 ・ 技術情報等の受発信の推進 <p>○新事業進出等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挑戦する中小企業の創出 ・ ものづくり基盤技術力の高度化支援
<p>新たな価値を生み出す創業・起業支援</p>	<p>○地域産業活性化のための創業促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創業の機会と場の提供 ・ 創業期における支援の充実 ・ 創業機運の醸成 <p>○創業・起業支援の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性・若者の起業支援 ・ ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスの担い手への支援

(3) プロジェクト3

「だれもがいきいきと働き輝けるまち名古屋」の実現
～地域の持続的な発展につながる就労支援・産業人材の育成～

ア 成果指標

指 標	現状値	目標値
仕事と生活のバランスが希望どおりであると思う市民の割合	34.4% (平成26年度)	39.0% (平成32年度)

イ 施策展開

区 分	施策展開
地域の活性化につながる就労支援等	<ul style="list-style-type: none">○就労・雇用機会の創出<ul style="list-style-type: none">・なごやジョブマッチング事業の推進・職業理解の増進 ○多様な人材への就労支援<ul style="list-style-type: none">・若者・女性・高齢者・障害者・外国人等、多様な人材の活躍促進・関係機関等と連携した就労支援の推進 ○ワーク・ライフ・バランスの取り組み推進<ul style="list-style-type: none">・企業におけるワーク・ライフ・バランスの取り組み推進・関係機関等と連携した取り組みの推進

区 分	施策展開
次世代を担う産業人材の育成・確保	<p>○産業人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少年少女発明クラブの運営 ・ 将来の航空宇宙産業を担う人材の創出・育成（再掲） ・ 課題解決力に優れたものづくり人材の育成支援 ・ 若手社員の育成支援 ・ 伝統産業における若手技能者への支援を核とした技能継承の推進 ・ 技能職の後継者育成支援 ・ 関係機関等と連携した取り組みの推進 <p>○産業人材の確保・定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材の確保・定着支援 ・ 大学生等の中小企業への定着支援

5 推進体制

- ・国・県、他都市及び各種中小企業支援機関との連携、並びに本市の観光・都市計画をはじめとした全庁的な連携を図る
- ・政策資源を効率的・効果的に活用し、施策の選択と集中を図る
- ・中小企業団体や金融機関をはじめ民間との協働により効果的な事業実施や施策立案を行っていく

6 進捗管理

本ビジョンに基づく各種施策の成果を測るため、目標値を設定して適切な進捗管理を行い、効果的に施策を展開していく

指 標	目 標 値
立地または創業した事業所数	1,100件
新規雇用者数	44,000人

注 計画期間である5年間の合計

7 今後の予定

時 期	内 容
平成27年12月～ 平成28年 1月	パブリックコメントの実施
平成28年 3月	策定・公表